

1 Vol. 9. 2

2 シアターTRIBE 第8回公演

3

4 NIJI

5



6
7
8
9
10
11
12

作・永高英雄

13 ■登場人物

14 サンテ 環境庁 新人 うちわ

15 ソガ 監視員 タロウ

16 ゴミ 市職員 きん

17 クチキダ 戦場カメラマン ぐっち

18 ハジ 温泉女将 K

19 トリドウ 太鼓女 ちよくび

20 カジ マタギ・ウシヤマ もの

21

22 ■場所

23 樹海の中の開けた空き地みたいな場所に、掘立小屋が建っている。

24 地面には、ところどころ舗装代わりにコンパネが敷いてあり、一見、山中の工事現場みたいな雰囲気。

25 腐侵領域の監視哨Z36。

26

1. 第一場

27 SE・・・遠くで太鼓の音

28 ここは、オコスエ村の山中。環境庁管轄Z-36号監視哨。

29 周りは、森。

30 奥から現れるサンテとソガ。作業服姿。手を両脇にあてて、駆け足の姿勢。

31

32 ソガ
・・・ウイッチニ！ウイッチニ！

33

34 二人、出てくるとその場で足踏み

35

36 ソガ
駆け足止め！

37

両名、直立不動

38

39 ソガ
作業前点検準備！

40	サンテ	作業前点検準備します！
41	ソガ	点検開始！
42	サンテ	点検開始します！
43		
44		ソガ、サンテの帽子に指差し。
45		以後、いちいち指差し命令する。
46		
47	ソガ	ヘルメット！
48	サンテ	ヘルメットファイヤ！
49	ソガ	手袋！
50	サンテ	手袋ファイア！
51	ソガ	上着！
52	サンテ	上着ファイア！
53	ソガ	ベルト！
54	サンテ	ベルトファイア！
55	ソガ	ズボン！
56	サンテ	ズボンファイヤー！
57	ソガ	ブーツ！

58 サンテ 右ブーツファイア！左ブーツファイア！
59 ソガ 足裏！
60 サンテ 右足裏ファイア！左足裏ファイア！以上、作業前点検完了！
61 ソガ よし！休め！

サンテ休めの姿勢

62
63
64 ソガ ……
65 サンテ ……
66 ソガ フン…いいじゃないですか。フンフン。
67 サンテ はあ…そうですか？
68 ソガ いいと思いますよ。
69 サンテ ……はあ。
70 ソガ でも…まだ…ちよつと反応が遅いかな？若干。
71 サンテ あ？そうですか？遅い？…遅い？
72 ソガ ああ、若干ですよ…若干。
73 サンテ ……どんな感じで…
74 ソガ もつと、こうパツとね。ヘルメトウアイヤー！みたいだね。
75 サンテ ……え？

76 ソガ ヘルメトウアイヤー！
77 サンテ ……ヘルメトウアイヤー…。

78 **サンテ、何度か帽子に手をやりながら練習する。**

79
80 ソガ そうそう。その位で、そう…バンバンかぶさってくる。フンフン。

81 サンテ ヘルメトウアイヤー！

82 ソガ あ、まだまだちよつと声…ボリューム…小さいかな。はい！ズボン！

83 サンテ ズイヤ！！

84 ソガ 手ブクロ！

85 サンテ ティアー！

86 ソガ ……さすがキャリアさんですわ。なかなか、ね、すぐには出来んもんですよ。フン。フン。

87 サンテ ああ、ありがとうございます。

88 ソガ いえいえ…フンフン。

89 サンテ ……えーと。

90 ソガ なにか？

91 サンテ ……ファイアって？

92 ソガ は？

93 サンテ なにかな？…っっていう。

94 ソガ 英語ですね。

95 サンテ え？

96 ソガ 英語・・・火とか、燃えるっていう・・・

97 サンテ ・・・・あ、そうじゃなくて・・・

98

99

100 ソガ、ジロジロ、サンテを眺める。

101 サンテ、いたたまれなくなる。

102 太鼓の音が一層響く

103 ソガ やってるなあ。

104 サンテ は？

105 ソガ 太鼓。ほら太鼓。

106 サンテ ああ。

107 ソガ (つぶやく) あれで効くとかほんとに思ってるのかなあ？

108 サンテ なんですか？

109 ソガ 自然派っつーんですかあ？ほら、虹が天の啓示だとか言ってる。

110 サンテ ああ。

111 ソガ 太鼓の音の周波数だが、虹の出現に影響するんだとか言っていましたわ。

112 サンテ へえ。

113 ソガ そんなものに影響されたらちとら商売あがったりですわ。ねえ！

114 サンテ え？

115 ソガ だいたい、虹の壁の構造自体全くわかってないってのに、なんで太鼓なんだよと。でしょ？

116 サンテ あれじゃないですか？

117 ソガ 太鼓なんぞの音で虹がなくなるんなら監視哨なんかいらんわいつつ。

118 サンテ あれじゃないですか？

119 ソガ だいたい虹の構造自体がよくわかってない

120 サンテ あれじゃないですかねえ？

121 ソガ ・・・なんですか？

122 サンテ ・・・いや・・・いいです。

123 ソガ で？

124 サンテ え？

125 ソガ なんの話でしたっけ？

126 サンテ え？

127 ソガ ・・ほら・・なんか聞きましたね？私に

128 サンテ あ、あのファイヤーの意味について・・

129 ソガ あのですねえ・・。

130 サンテ はい。

131 ソガ (急に力が入る) 現場は、真剣勝負だったことなんですよね！
132 サンテ え？
133 ソガ 真剣勝負ですよ。毎日があ。こう・・・、勝負！勝負！
134 サンテ なるほど。
135 ソガ ・・・・(つぶやく)ま、事務方さんにはわかんないか・・・フンフン。
136 サンテ そ、そんなことないです。
137 ソガ ホントですかあ？
138 サンテ ホントです！
139 ソガ じゃあ・・・聞いちゃおうかな？この際だから。
140 サンテ 为什么呢？
141 ソガ あの・・・本庁のお、キャリアのお、新人さんが、こんな、地方のいち監視哨に、どういったご用件で？
142 サンテ あ、だからそれは、前に言ったように・・・
143 ソガ 嘘ですよお！
144 サンテ え？
145 ソガ 現場があ？
146 サンテ はい。
147 ソガ 体験したいからあ？
148 サンテ はい。
149 ソガ そんなの聞いたことないですよお？

150 サンテ

でも・・・あのホントなんです。

151

152

ソガ、突然しゃがみ込み、草をいじりだす。

153

154 ソガ

・・・なんか、問題ありましたか？

155

サンテ

・・・え？いや、ないですよ。

156

ソガ

・・・私の報告とかになにか問題があつて・・・

157

サンテ

気をまわしすぎー。

158

ソガ

・・・そうやって、調査して回ってるわけですか？あつちだ、こつちだと・・・。

159

サンテ

ちがいます！なんか誤解してるソガさん。私そういうのじゃないんで。ほんと、ほんと。

160

ソガ急に立ち上がる。

161

162

163 ソガ

(叫ぶ) 本音で生きましょうよ！人間は！

164

サンテ

は、ああ・・・そう思います。私も。びっくりしたあ・・・。

165

ソガ

なんか理由があるんでしょう？ここに来た・・・。

166

サンテ

・・・あの・・・だから。

167 ソガ 理由なきや来ませんよね？こんな山の中の監視哨に。私配置されて3年ですよ。誰も来なかった！誰一
168 人！どういことですか？

169 サンテ あ・・そんなんですか？

170 ソガ それがいきなりでしょ？そりや疑うわあ、誰でもお。なんかしでかしたのかあ俺？とかって。

171 サンテ まあ、うん・・。

172 ソガ ・・でもまあ、これ以上の左遷たって、いったいどこ行くんだ？って話ですもんね。

173 サンテ そうですよお。

174 ソガ、ものすごく驚いた顔をしてしやがみ込む。

175 サンテ、ハツとして。

176

177 サンテ あ！いやあのそういうことじゃない！私は、現場の大事さって言うのは身をもって知らない、ダメだと

178 思ってます。ホントに身に沁みないと、ダメ。ほんとにほんとに・・。やっぱり、中央の机に座ってて

179 も・・わかんないことって・・いっぱい・・
180 当たり前ですよお！

181

182 **再び立ち上がるソガ**

183 サンテ はあ。

184 ソガ 人間を一番蝕むもの・・なんだか知ってますか？

185 サンテ ・・蝕むもの・・やっぱ病気とかですか？

186 サンテ 孤独ですよお！孤独！

187 ソガ 孤独・・ですか？

188 ソガ 人間はね・・孤独に蝕まれると、あつと言う間ですわ！

189 サンテ ・・えーつと・・

190 ソガ 孤独ですよ・・一番の敵は・・孤独。

191

192 サンテ、ソガのあまりの落ち込みに不安になる。

193 サンテ ・・大丈夫なんですか？ソガさん。

194 ソガ え？なにがですか？

195 サンテ あの・・ちよつと。不安定な感じですが・・。

196 ソガ なにおおっしゃってるのか？さっぱりですねえ。

197 サンテ え？あそうですか。

198
199 ソガ (突然快活になる) 先程の作業前点検なんかも、まあ、体験しておわかりいただけたかと思えますけど
200 も、真剣ですよ！でしょ？その表れが良く出てるでしょ？でしょ？

201 サンテ あ、まあ。

202 ソガ でしょ？まあ、私が考えたんですけど。

203 サンテ あ、やっぱり。

204 ソガ
205 (焦って) あれですよ。まだまだ未完成的なところあるけれども、作業に対する気持ちの持っつき方って
206 うのを、研究しつくした結果っていうね。フンフン。
207 なるほど。
208 サンテ
209 参考にしてください。
210 勉強になります。
211 ソガ
212 あはははは。よし！じゃあ、仕事に入りましょう！はい！手を出して。
213 **ソガ、サンテが出した手に双眼鏡を渡す。**
214 サンテ
215 え？あ・・あれ？私が？
216 ソガ
217 はい！距離、虹の壁、末端まで360メートル！東の山肌、竹藪にかけての範囲！60度から155度の
218 間。はい！複唱！
219 サンテ
220 すみません・・ちよっと何言ってるかわかりません。
221 ソガ
222 アーユー？現場を体験したい人でしょ？
223 まあ、それは・・。
224 ソガ
225 じゃ！
226 サンテ
227 え？あ、ちよっとソガさん！ソガさん！

222 ソガ奥へ去っていく。

223 残されたサンテ、なにかを思っただけ深くため息をつく。

224 そして仕方なく、双眼鏡を覗き始める。

225 そこに、下手奥からいかにもアウトドアといういで立ちでクチキダが現れる。その姿を発見し
226 て驚くサンテ。

227
228 サンテ おー・・・お、おはようございます。

229 クチキダ どうも。・・・観測ですか？

230 サンテ あ、なんかやることに・・・。

231 クチキダ へーそうなんだ。あれ？この人じゃない？

232 サンテ ハイキングかなにかで？

233 クチキダ え？

234 サンテ どういった？

235 クチキダ あれ？聞いてない？

236 サンテ なにを？

237 クチキダ 152号線。

238 サンテ は？

239 クチキダ ほらここから町への林道、152号線。
240 サンテ それが・・・。
241 クチキダ 虹が出るみたいですよ。
242 サンテ え！虹が？
243 クチキダ そうそう。あ、おれはさあ、温泉に来てただけど。
244 サンテ 温泉？
245 クチキダ そうそう温泉。すぐ下の。やんごとなき温泉。日帰り施設の。おぼけ荘。
246 サンテ はあ。
247 クチキダ あれ？知らないの？結構有名。ここの温泉。ペーハーが異様に高いつつつて。お肌つるつる。
248 サンテ 昨日来たんで・・・。
249 クチキダ あ、そう。でさ、いや、朝風呂にきてたらさあ。急に避難しろつて。
250 サンテ ここに？
251 クチキダ そうそう。ここの朝風呂。いいんですよ、空いてて。そうそう。7時から、やってるし。そんでね、市の
252 人が来て、虹が出る兆候があるから、152号線が封鎖になるからつて。ここから下るの間に合わないか
253 ら、上の監視哨に行けつて。もうじき市の人もくると思うけど。あれ？連絡とか来てないの？
254 サンテ ああ、ちよつと、私、ここの担当者じゃないんで・・・。
255 クチキダ あれだよ、温泉にいたの俺だけだったから、施設のおばちゃんとここへきたんだけどさ。
256 サンテ 市の人は？
257 クチキダ ああ、なんか途中、太鼓叩いてる人？探しに。

258 サンテ そうなんですか？あ、ちよつとあれですね。担当者呼んできますから。えーと・・・あなたは？
259 クチキダ オレ？クチキダ。
260 サンテ クチキダさん？
261 クチキダ そう。
262 サンテ 戦場カメラマンの人ですか？
263 クチキダ え？
264 サンテ あ、いや感じが。
265 クチキダ え？そう？そんな感じする？戦場の？
266 サンテ なんか・・・
267 クチキダ カメラマン？
268 サンテ すみません。適当なこと言いました。
269 クチキダ (うれしそう) なんかまあ・・・そんな感じだから。実際、うん。
270 サンテ ちよつと担当者呼んできますから。
271
272
273
274

サンテ、奥へ去る。

同時に、ハジが奥から現れる。手にビニール袋を持っている。

275	クチキダ	ああ、取ってきたんだあ。
276	ハジ	そりゃ、どうなるかわかんないんだから食料あったほうがいいでしょ？
277		
278		
279		
280	クチキダ	え？そんな感じになっちゃうんです？
281	ハジ	わかんないわよ。私には。でも何日もここに閉じ込められるかもしれないでしょ？
282	クチキダ	困ります、それ。
283	ハジ	私だって困るわよ。で、もしよ、ここの食料があてにならなかったらさ、あんたどうする？え？
284	クチキダ	やたらなキノコは危険ですよ。ちゃんと食べられるか判断しないと・・・。
285	ハジ	へえ、よく知ってるわね。
286	クチキダ	(ちよつと焦って) まあ、ほら、職業柄？
287	ハジ	登山とかのやる人？
288	クチキダ	戦場カメラマンです！(うれしそう)
289	ハジ	・・・。
290		
291		

クチキダ、聞こえなかったのかと思ひもう一度繰り返す。

292
293
294
295
296
297
298
299
300
301
302
303
304
305
306
307
308
309

クチキダ 戦場のカメラマン・・・戦場でカメラマン。
ハジ 一回言えばわかるわよ。
クチキダ ……ああ。そうですか。(薄い反応にがっかりする)
ハジ ゆっくりしやべんないじゃない?
クチキダ え?
ハジ 人バカにしてんのか? ってスピードでしゃべるんでしょ?
クチキダ ああ・・・それは、ほら・・・特定の人のあれでしょ?
ハジ 職業病でしょ?
クチキダ いやいやちがいますよ。それは、ちがいますよ。たぶん。
ハジ ふーん。
クチキダ (わざと物まね風に言ってみる) じつは、そうなんです。
ハジ (完全に無視して) 戦場でキノコも採るわけ?
クチキダ え?キノコ?うん・・・まあ、ありますよ。そういうことも。
ハジ どんな?
クチキダ え?ああ、まあこういういった感じのもですわね・・・。

クチキダ、手でなにか大きさを示そうとする。

310
311
312
313
314
315
316

ハジ
クチキダ
ハジ
クチキダ

わかんないわよ？
あ、まあ、なかなか伝わりにくいですね・・・。
たいしたもんだわ。
(うれしそう) そんな大したことじゃない。まあ、アウトドアには精通してないと、こういう職業はやってけないし。だいたい現地の植物相と違って、把握してからまあ、入国？そういう感じで・・・

ハジそれを聞いていない。

317
318
319
320
321
322
323
324
325
326
327
328

ハジ
クチキダ
ハジ
クチキダ
クチキダ
ハジ
クチキダ
ハジ
クチキダ
ハジ
クチキダ
ハジ
クチキダ

(唐突に) ここ初めて来たわ。近いのに。
あら？そうなんですか？
だってほらあんまり近づいちゃいけない雰囲気あるでしょ？
まあ、ありますねえ。
そんなことはどうでもいいけどさあ！ここの責任者は？どうなってんの？
いや、なんかさつき呼びに・・・女の人が。
おんなあ？幾つくらいいの？
あ、あれは二十代前半くらいなの？じゃないかなあ？
はあ？
え？なに？

329 ハジ どういうこと？それ？

330 クチキダ え？

331 ハジ ここには、なんか若い男が一人だっけ聞いたよ？そういうところに、若い女が居るってのはさあ？どういうことになってんの？一体全体？なにここは？

332 333 クチキダ ちよつと、私に聞かれてもわかんない・・・。

334 ハジ ・・・・どういこと？なにが行われてるんだ？・・・なに？いったい？なんなの？
335 クチキダ どのくらいで救助きますかね？

336 ハジ (異常に興奮している) あたしが知るわけないじゃない！

337 クチキダ ・・・・まあ・・・そうでしょうけど。そんなに怒鳴らなくても・・・あ、市の人は？

338 ハジ さあ、もうじき来るんじゃないの？そんなことよりもねえ！

339 クチキダ あの太鼓の人は？

340 ハジ 知らないわ。あのね、そんなことよりもさ・・・

341 クチキダ よく来る人なんですか？

342 ハジ そんなことどうでもいいでしょ！今は！なにが行われてるかってことよ！ここで！それが一番の問題でしょ？

345 **そこにやってくる。ソガ**

346 ソガ 聞いてませんよ！聞いてませんよ！

348 クチキダ

え？

349 ソガ 全然聞いてませんよ！

350 クチキダ いや・・聞いてませんって・・あなたがここの責任者の人？

351 ソガ (ぶつぶつぶやく) 困りますよ・・困りますよ。ここは、気象庁管轄の監視哨なんですからね。地方自治体の避難に使用できるとかっていう話は、そもそも聞いてないんですよ。そんなあれじゃないんですよ。大事な観測機器とかもあるんですよ？そうそうだよ・・そもそも、ここら辺は立入りが制限されているわけで・・・。

355
356
357
358
359
360
361
362
363
364
365

ハジ、突然ソガにつかみかかる。

ハジ こらー！国民の税金でエロってんじゃねーぞ！貴様ら——！！

ソガ あああ？

クチキダ、慌ててハジを引きはがす。

クチキダ ちよっと！なにしてんですか？止めなさいよ。

ハジ、引きはがされても、興奮が収まらない。

366
367
368
369
370
371
372
373
374
375
376
377
378
379
380
381
382
383
384

ハジ
クチキダ
ハジ
クチキダ
ソガ
ハジ
クチキダ
ハジ
クチキダ
ソガ
クチキダ
ハジ
クチキダ
ソガ
クチキダ
ソガ

はあ、はあ、はあ。
そういうことじゃないでしょ？今は？ね？
はあはあ。わかってるわよ！ちよつと、離しなさいよ！
（ソガに）連絡とかきてないんですか？
あ・・・あ・・・あ？（だんだん目が虚ろになっていく）
（再びつかみかかる）こらー！あーあーじゃない！え？え？なんなのよ！お前はー！何をやってるのよ！え？こんなところで！いったい何が行われてるのよ！
（ハジを押さえながら）いや、だから！それはもういいでしょ？いい加減にしましょうよ？
はあはあ。
虹が出ちゃったら、街には降りらんないんだから、孤立しちゃうんですよ！我々は。これでしょ？大事なのは？
わかってるって言うてるでしょ！なに、あんたはベタベタ触ってるのよ！
誰がですか？そんなことより（ソガに向かって）どうなの？あんた？
あれ？あれ？
あれ？あれ？じゃないよ、あなた。
（三度つかみかかる）このヤロウ！なんとか言いなさい！ほら！何をやってたのよ！白状しなさいよ！
（三度ハジを抑える）だから、それはもういいでしょって？やめなさいって！もう！
（突然甲高い大きな声で）パーン！

385 クチキダ

え？

386 ハジ

なに？

387 ソガ

あれ？今、頭の中でパーンって音がしたよ。

388 クチキダ

いや、自分の口で言ったんだよ。

389

ソガ、ズルズルと崩れ込む。

390

391

ハジ

ちよつと・・なにこの人。どうしたの？

393

クチキダ、ソガの様子をうかがう。

394

395

クチキダ

気絶してる・・。

397

そこに現れる、サンテ。

398

399

サンテ

(倒れたソガにのしかかっているクチキダを見ておびえている) なななな何をやってるんですか。

401 クチキダ

あ、誤解しないで。これはそうじゃないんだって。

402 サンテ

どどどどどういうことですか？

403 クチキダ ちよつとした行き違い的な感じなんじゃないかな？うん。ね？（ハジに振る）

404
405
406
407
408
409
410
411
412
413
414
415
416
417
418
419
420

ハジ凍っている。

クチキダ えー？あれー？

そこに市役所職員のゴミがヘルメットと作業服姿で駆け込んで来る。

ゴミ （息も絶え絶えで顔を伏せたまま）はあはあ、助かった・・・はあはあ。

サンテ 市の、方ですか？今、すごい、避難者の方々が突然、突然襲いかかってきて・・・

クチキダ 誰が？襲いかかっているんですか？だれが？

サンテ 襲ったじゃないですか！ソガさんもう息してませんよ！

クチキダ 息してるって！気絶したんだって！勝手に！ねえ？（ハジに振る）

ハジ凍ったまま。

クチキダ えー！

サンテ とにかく市の方なら、ちよつと、なんとか・・・。

421

422

ゴミ顔を上げて、サンテと向き合う。

423

サンテ、みるみる顔が青ざめる。

424

425

ゴミ
あれ？あれ？なんでこんなところにいるの？

426

427

サンテ、突然建物に去る。

428

429

クチキダ
なに？え？知り合い？

430

ゴミ
え？いやあ？あれ？どうなんだろう？

431

ハジ
どういうこと？いったい！

432

ゴミ
え？え？いや、それよりも、来ますよ！こつちに。

433

クチキダ
なにが？

434

ゴミ
んん、なんか、でつかい、熊みたいな・・・いやあれは熊じゃないぞ・・・なんか巨大生物を見たんですよ！

435

ハジ
え？なにそれ？

436

ゴミ
わかんないですよ！なんだか！でかくて、黒い毛の生えてる生き物ですよ！

437

クチキダ
ちよつと・・・まじ？

438

ゴミ
UMA！

439	ハジ	なによ？それ？
440	ゴミ	UMAですよ。未確認生物ですよ。雪男とか、ネッシーとか。
441	ハジ	そんなもんいるの？
442	ゴミ	世界中で目撃されてんですよ。いろいろな未知の生物が。人間の知らない。そうだ・・虹から出現したんだ！そうだ！それならこちら辺にも居ておかしくない。
443	ハジ	なにそれ？なにそれ？
444	ゴミ	虹の向こう側は異次元って言われてるでしょう？そこに住んでる未知の怪物がこちらに現れたんですよ！きつと！終わりだ・・。みんな喰われるんだ・・。
445	ハジ	戦場カメラマンー！
446	クチキダ	知らないから！そういうの！
447	ゴミ	森が・・静かになった・・。
448		さっきの太鼓も止み。鳥の声も聞こえなくなる。
449		全員が固唾を飲んで下手を見つめる。
450		と、ガサッと音がする。
451		
452		
453		
454		
455	全員	悲鳴
456		

457 全員、上手に固まる。

458 すると、下手からオーガニック女、ドリトウが現れる。

459 全員を見回して唐突に太鼓を叩きながら、踊り狂い始める。

460
461
462 ドリトウ
463 ドンドンドット、ドンドンドット、ドンドンドット、ドンドンドット、ヒヤーン！ピヤーン！
464 クチキダ（ゴミに向かって）これのこと？

「ミ、激しく首を振る。」

465
466
467 ドリトウ
468 ♪デュワーー！ギューワーー！イヤーン！

469 そこにサンテが突然手に包丁を持って現れる。

470 他の全員呆然と立ち尽くす。

471 サンテ 外道がー！
472 ドリトウ え？え？

473

474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490

なぜかその声に驚いて、ソガが目覚めます。

ソガ
うーん？えー？

わけのわからない状況に再び失神。

サンテ、コミに飛びかかる。

サンテ
死ねさせー！
コミ
ぎゃー！

サンテの包丁がコミのお尻に突き刺さる。

暗転

BGM・・・

491

2. 第二幕

492

BGM・・・

ゆっくりと明転

493

494

495

20分位がたったころ。

496

中央でクチキダが折りたたみイスに座っている。

497

しゃくり上げているゴミ、正座している。

498

正対してサンテも正座している。

499

ゴミ ううう・・・う・・・う・・・ヒック・・・ヒック。

500

クチキダ もうさあ、・・・ちよつと・・・泣くの止めなさいよ・・・君。

501

ゴミ (突然叫び出す) 自分が悪いんですー。

502

クチキダ そうだよ！あんたが悪いんだよ。田舎に妻子あるのに、若い女に手出しちゃったんだから。

503

ゴミ すみませーん。うわー。

504

ゴミ

505

ゴミ泣き崩れる。

506
507
508
509
510
クチキダ
（サンテに）あんたもさあ・・・危うくさあ・・・これね、傷害罪。まあ、たまたまお尻の財布の5000円玉に刃が当たって・・・

クチキダ、5000円玉を見せる。

511
512
513
514
515
516
517
518
519
520
521
522
523
524
クチキダ
そこで止まったから、よかったものさあ。下手したら、殺人未遂。
サンテ ううう・・・（泣き始める）
クチキダ 本気で殺そうと思ったわけ？
サンテ こうなった以上・・・彼を殺して・・・自分も死のうと思ってました・・・
ゴミ うわーん。
クチキダ 泣いてもだめだからね。
サンテ だって・・・結婚式の日取りまで決めてたのに・・・いきなりラインにも、メールにも返事が無くなつて・・・電話したら、解約されて・・・
ゴミ うううううー。
クチキダ だから泣いてもだめなんだって。
サンテ あちこちに連絡してみたら・・・こっちに奥さんと子供までいるって・・・
クチキダ で、仕事と称して、この人に会いに来たわけね？こんなもん持って・・・

525

526

527

528

529

530

531

532

533

534

535

536

537

538

539

540

541

542

クチキダ、ナイフを見せる。

クチキダ どこで買ったの？こんなもの？

サンテ amazonです。

クチキダ へえ？amazonで売ってるんだー。

サンテ 私は・・・人生を失ったんですよ！この男のせいだ！

ゴミ ウワーーーん。

クチキダ だから泣いてもダメなんだよ。君は。これどう責任取るの？

ゴミ、目が一回転するとケロッと泣き止む。

ゴミ
そうですねえ、今後、自分が幸せに生きることによってですね、罪を償うことになるんじゃないかと思うんですね。

サンテとクチキダ絶句

サンテ やっぱお前は死ぬ・・・

543

544

サンテ、クチキダの持っているナイフを奪おうとする。

545

それを慌てて止めるクチキダ。

546

クチキダ

止めなさいって！なにしてんの？もう。（ゴミに向かって）あんたそれ反省してないじゃん。全然。

548

ゴミ

そんなことないですよ！わかってもらえないんですか？うわーん！（泣き始める）

549

クチキダ

それ、もうやめろ！泣き真似すんのやめろ！

550

ゴミ

（すっと泣き止む）はい。

551

サンテ

（泣き叫ぶ）奥さんと別れて！

552

ゴミ

（即答する）あ、それ、無理。

553

サンテ

はあ？

554

ゴミ

無理。いやあ、ちよつと。それはないな。その選択は無い。

555

サンテ

なにそれ？訴えてやる！

556

ゴミ

それはダメ！それをやっちゃあ、ダメだって。うわー何言ってるのー、この人。そんなことしたって何の得にもならないからね？だって君だって、将来ある身なんだしさ。僕だって反省してますよ。ほんとに、ほんとに。まあ、慰謝料とかって言われても無い袖は振れないけどね。

559

クチキダ

なに？突然雄弁になつてんの？

560

ゴミ

だってですよ・・・これうがった見方になりますけど、お互い楽しんだんじゃないかなあ？的な？そういう見方もありなわけでしょ？そもそも論からいいいますと男女の仲なんてですよ・・・

561

562 サンテ
563 (耳を塞いで) あーあー聞こえない聞こえない・・・人類の敵が現れた・・・こいつは、どっかの星から
564 来た侵略者だったんだ・・・私が殺さないと・・・人類の危機だ・・・死ねー！

565
566 とびかろうとするサンテを止めるクチキダ。

567 クチキダ
568 やめなさい！やめろ！って！

569 ゴミ
570 ぎゃー！人殺し！人殺し！助けてー！助けてー！

571 サンテ
572 死ね！死ね！死ねー！

573
574 そこに飛び込んでくるソガ。

575
576 変なおかっぱかつらをつけている。

577 ソガ
578 (大声で) ちやいやー！

579
580 他の全員驚いてソガを見る。

581 ソガ
582 (念仏のように) 観測しなきゃ・・・観測しなきゃ・・・観測しなきゃ・・・
583 クチキダ
584 ちよつと・・・あなた・・・どうなっちゃったんですか？

580

ソガ

近づくなー！それ以上近づくなー！

581

クチキダ

ねえ・・大丈夫なの？

582

ソガ

お前らになあ、観測の邪魔はさせないぞー。

583

クチキダ

ちよつと・・落ち着きましようよ？ね？邪魔なんかしませんから・・・。

584

ソガ

お前らのせいだ！私はもう・・私ではなくなってしまった・・

585

クチキダ

なにを言ってるんだ？あんたは？

586

ソガ

うううううぎやー！オレは一人で観測してきたんだ！オレは！孤独だったんだ！孤独がオレを変えてしまったんだ！恐怖の・・モンスターにいー！バリバリバリ・・

587

588

589

ソガ、大騒ぎしながら上着の脱ぐ。

590

その下はブラジャー姿だった。

591

592

ゴミ

大変だ・・変態が現れた・・。

593

ソガ

これが見えないかあ！え？これがあ！

594

クチキダ

なんですか？なんですか？

595

ソガ

へへへ、これを振ると・・私は、もう普通じゃなくなってしまうのだ・・。

596

597

ソガ、金属の棒を持っている。

598
599
600
601
602
603
604
605
606
607
608
609
610
611
612
613
614
615

クチキダ もうすでに普通じゃないぞ！あんた！
ソガ ケケケケケ。それ以上近づくとなあ！こいつを振るぞ！
クチキダ え？なに？だからなんなの？
ゴミ やばい・・・これは本当にやばいやつだ。
クチキダ (サンテに) 君、同僚でしようが？
サンテ いえ・・・あの・・・
クチキダ なんとか・・・これ・・・
サンテ ソガさん！それがファイヤーの正体なんですか？
クチキダ は？なに？
サンテ ソガさん！・・・あの、そういうことなんですか？ファイヤーって！
クチキダ だから何を言い出してんだよ！
ソガ 私はソガじゃない・・・。
サンテ はあ？
クチキダ じゃあ誰？
ゴミ 変態でしょ？
ソガ ジヤステイーンだあああ！

616 ソガ、手に持った棒を振り回し始める。

617

618 ヴあああああああ！

619 全員 うわー！

620

621 そこに小屋から、ハジが現れて、ソガの襟首をつかみ、ものすごいスピードで往復ビンタする。

622

623 ソガ、その場に崩れ落ちるようになりこむ。ソガの持っていた棒をハジが取り上げる。

624

625 ハジ 変質者めが．．。

626

627 ソガ、泣き始める。

628

629 ハジ 泣くな！

630

ソガ はい．．．。

631

ハジ 早く、上着着ろ！

632

ソガ はい．．ううう。

633 泣くんじやない。

634
635 **ソガ、上着を着る。**

636
637
638 クチキダ
(あきれた感じ) . . . ちよつとみんな座れ。座ってくれ。

639 **全員、折り畳み椅子に腰かける。**

640 クチキダ
ちよつとみなさん！いいですか！仲間割れしてふざけてる時じゃないんだよ！今は！

641 サンテ
. . . 誰もふざけてませんよ。

642 クチキダ
真剣なら余計まずいんだよ！いいですか！戦場では、こういうのが命取りになるんだよ！いい？もうね！

643 死が目の前にあるんだよ？もう、危険と隣り合わせ。あ、危ない！

644
645 クチキダ、突然ゴミの後ろに木の枝を投げる。

646 **全員、びっくりして後ろを振り向く**

647
648 ゴミ
え？え？なに？

649 クチキダ
今、彼の背後に毒蛇が忍び寄って . . .

650 全員 えー！

651 クチキダ いたように、感じた・・・。

652 ゴミ え？感じた？感じたって言った？

653 クチキダ 危なかったな・・・うん。つとまあ、このように危険は目の前に迫っているわけだ。

654 全員 ……。

655 クチキダ 私たちは、現在この監視哨に、孤立してしまっただ。そして町への一本道にいつ虹の壁ができるかわからな

656 い。

657 全員 ……はい。

658 クチキダ もし、一本道に虹の壁ができしまったら、当分は、救助も望めない。いい？

659 全員 ……はい。

660 クチキダ そして、なにやら未確認の生物までこのあたりを徘徊している。そういうとつてもせつぱつまった事態。

661 これ！

662 全員 はい。

663 クチキダ さて・・・そんな時に一番大事なものは、なに？え？なに？

664 **全員、なにが言いたそうになっている。**

665 **クチキダ、我慢できずに。**

666 クチキダ (突然ゴミを指さして) そう！君、今いいこと言った！リーダーの存在。

667 ゴミ (混乱して) え？

668 サンテ リーダー・・・ですか？

669 クチキダ そう！リーダーが必要。リーダー無き集団は、ただ死！これあるのみ。

670 全員 ……。

671 クチキダ で、この中でリーダーにふさわしい人物を選ぶと…誰？誰が一番ふさわしい？

672

673 全員キョロキョロしている。

674 しばらくしてクチキダ、誰も自分を指名しないことにじれったくなる

675

676 クチキダ そう俺！

677 全員 え？

678 クチキダ そう、全員がそう思った通り、ここは俺が引き受ける。いや引受けましょう。しかたないから…。

679 サンテ ……えーと？それは？…。

680 クチキダ 当然と言えば、当然だね、戦場カメラマンとして、世界中の地獄を生き延びてきたわけなんで。

681 ソガ えええ？戦場って？

682 ゴミ 戦場・カメラマン？

683 ハジ 私は知ってたけどね…。

684

685 全員、ハジを一瞬見る。

686

687 クチキダ 改めて自己紹介しましょう、戦場カメラマンのクチキダです。
688 サンテ えーまさかの、本物？
689 クチキダ まあまあまあ。そうね、うんうん。
690 サンテ 最初っから、なんか普通じゃない感じはしてた・
691 ハジ 私は知ってたけどね。
692

全員、一瞬ハジを見る。

693
694 ゴミ すごい人が現れたぞ・・・。
695 クチキダ うん・まあ・すごくは無い、すごくは無いんだけどね・・・うん。
696 ハジ 私は知ってたけどね。
697

全員、一瞬ハジを見る。

698
699
700 クチキダ (ものすごくうれしそうに) じゃあ、はじめましょうか？
701 サンテ え？なにを？
702 クチキダ ブリーフィングですよ！
703 サンテ え？ブリー・・・
704 クチキダ 作戦を立てるんでしょ？この状況を生き抜くための！

705 ゴミ さすがだ・・・もう、そんな感じになっちゃってる。

706 クチキダ 全員いる？あれ？あの太鼓の人は？

707 ゴミ いいんじゃないですか・・・あの人は。集団でいたくないみたいだし。

708 クチキダ まあ、いいや。じゃあ。作戦会議を始めます。礼。

709 ゴミ え？礼するんですか？

710 サンテ 黙ってやれ・・・。

711 ゴミ ・・はい。

712 クチキダ はい、あなた、ここの責任者。

713 ソガ ははは、はい・・・。

714 クチキダ どうしてここでは、携帯や無線使えないの？

715 ソガ そそそれは虹の壁の前面には強力な電磁波が発生しております、そのためです。

716 クチキダ そうということね？わかったみんな！

717 全員 ・・・。

718 クチキダ つまり連絡は？どうするの？

719 ソガ 電話線しか頼る通信手段はないです。

720 クチキダ そう！ところが、その通信がなぜか途絶えている。そうね？

721 ソガ そうです・・・。

722 クチキダ ということは？どういうこと？

723 ソガ どっか途中で断線した・・・可能性が・・・。

724 クチキダ つまりこのままでは、我々は？どうなる？うん？どうなる？
725 ソガ 孤立状態ということになります。
726 クチキダ そういうことだ！大変な事態だ！
727 ハジ 大人なしく待つしかないでしょ？救助を。
728 ソガ まあ、それが無難かと・・・思います。
729 クチキダ (ゴミに) あんた、村の救助計画はどうなってるの？
730 ゴミ え？ああ・・・無いんじゃないかなあ？
731 全員 え？
732 サンテ ちょっと、どういうこと？
733 クチキダ 君はさあ、そもそも避難誘導のために来たんじゃないの？温泉に！
734 ゴミ いや、ちがう要件ですね。
735 クチキダ え？じゃあ。
736 サンテ なにしに来たのよ？
737 ゴミ あ、それは・・・あの・・・言っちゃっていいのかなあ？
738 クチキダ 緊急事態なんだ！今は、すべての情報を提供してほしい！
739 ゴミ ・あの・・・村の温泉施設おぼけ荘の会計に不審な点があつて・・・。
740 ソガ え？え？え？
741 クチキダ 不審？
742 ゴミ まあ、それをちょっと明らかにしないと・・・ということで自分が行けといわれまして。

743 ソガ え？あれ？なに？それ？
744 クチキダ それって、なに？不正経理ってこと？
745 ゴミ 1000万近くのお金が不明に。

全員、ハジを見る。

747 ハジ
748 ハジ
749 ハジ ・・ああ、そうなんだあ・・それは大変だわ・・。私は、よく知らないけどさ。
750 ゴミ いや知らないわけじゃないでしょ？この人しかないんです。あそこの管理は。
751 クチキダ 横領？横領？
752

全員、ハジを見る。

753 ハジ え？え？なんなの？あんたたち、知りもしないで私を犯人扱い？
754 ソガ (切れる) あんんですかあ？自分は横領しておいて、私に、税金泥棒とか言って、説教こいたんですか
755 ハジ あ？説教を？説教を？さらにビンタまで！おやじにもぶたれたことないのに・・
756 ハジ (突然切れる) うるさい！誰が横領じゃ！こらあ！じゃあ、証拠見せろ！ほら！証拠を！
757 ゴミ 帳簿は、持ってこれませんでしたんで・・
758 ハジ ほらあ、なんの証拠もない。え？私がなにかやったって？はあ？
759 ゴミ 完全に開き直っている・・。
760
761

762 ハジ 証拠もなく、人を罪人扱いするんじゃない！

763 ソガ まともなのは俺だけかあ？これ？うひひひ

764 サンテ 心神に支障がある人は一番ダメでしょうが！

765 ソガ 誰が？誰が異常ですかあ？ ◆ハジ ちよつと謝んなさいよ！

766 サンテ 異常でしょ？完全に！ ◆ゴミ え？なんですか？

767 ソガ え？誰が異常ですか？ ◆ハジ いいから謝んなさいよ！私に！

768 サンテ 自分がどういう格好してるかわかってますか？ ◆ゴミ そういう話じゃないでしょ？

769 ソガ はあ？はあ？はあ？これは趣味ですから！個人の趣味に文句をつけると？はあ？

770 ゴミ ちよつと止めるって、そういう個人攻撃は良くないよお。

771 サンテ はあ？自分は下衆男でしょ？最低の！！ ◆ハジ 謝罪しなさいって言ってるの！

772 ゴミ え？ゲスって、自分は反省したでしょ？

773 サンテ なにが反省なの？あれの？はあ？ ◆ハジ 人の話を聞きなさい！

774 **みんなワーワーになる。**

775

776 クチキダ あぶなー！動くなー！

777

778 **全員、ビクツとしてシーンとなる。**

779

780 クチキダ ・ ・ ・ 今 ・ ・ ・ 毒ムカデが。
781 ソガ ど、毒ムカデですか？
782 クチキダ そうだ ・ ・ ・ （全員の後ろを指さす）そこにいた ・ ・ ・ ようだ。
783 サンテ ・ ・ ・ ようだ？ ようだって言いましたか？いま。
784 クチキダ 危なかったな！みんな。

全員、ぼかん

787 クチキダ ・ ・ ・ あれは2005年のシリアでのことだ ・ ・ ・ その日も戦場で、カメラマンをしていた私は友人の同じくカ
788 メラマンとちよつとしたいさかいになった。そう、そのため、彼は、ほんのちよつと油断したんだ。その
789 瞬間彼の頭に、銃弾が ・ ・ ・ わかるか！戦場での仲間割れは命とりなんだ！戦場では死体がころがってる
790 んだぞ！そうあちこちに！ ・ ・ ・ あっちにもこっちにもという意味だぞ。毒蛇だっている。あっちにも、
791 こっちにもだ！毒サソリだっているんだ、あっちにも、こっちにも！毒ムカデだっているぞ、そう、あつ
792 ちにも ・ ・ ・
793 ゴミ あ の ・ ・ ・ 2005年って、そのころってまだシリアとか平和じゃないですか？
794 クチキダ 今は、そんなのんびりと愉快な話をしている時じゃない！
795 ゴミ え？愉快って？そっちが ・ ・ ・
796 クチキダ さあ、話を元に戻そう。
797 全員 ・ ・ ・ 。
798 クチキダ とにかく、現況では、打てる手は、限られてくるってことだ。
799

800 サンテ なんですか？
801 ソガ 打てる手って？
802 クチキダ 決死隊だ！
803 サンテ え？
804 ゴミ けっしたい？
805 ハジ どういうこと？
806 クチキダ 誰かが、道路を下って行って、まだ虹が現れていないかどうか確かめる。
807 ハジ ええー？
808 サンテ それは・
809 ゴミ 無謀ですよ。だって、仮に今出てなくても、降りる途中で虹の壁が出現したら・
810 クチキダ その時は・・・それまでだ。だから決死隊なんだ。もう二度と還っては来れないかもしれない。しかし、まだ現れていないんだったら、街へ降りて、救助を訴えられる。そしたら、空からの脱出も可能になる。
811
812
813 サンテ そうだけど・
814 クチキダ 他にいい方法があるか？あるなら言ってくれ。
815 全員 ・
816 クチキダ 食糧も、ここにいる全員だとあと3日分くらいだろう。さらに時間を追うごとに虹の壁出現の可能性がどんどん増していく。
817
818 サンテ それはわかりましたけど・・誰が行くんですか？
819 トリドウ 行くやつは決まってる！

820

突然トリドウの音が響く。

821

全員が下手を見る。

822

トリドウが太鼓をたたきながら入ってくる。

823

トリドウ

あんただよ！

824

サンテを指さすトリドウ。

825

全員、サンテを見る。

826

暗転

827

828

829

830

831

832

833

834

835

836

837

838

839

3. 第三幕

840

しばらく経って。

841

ソガが一人立っている。

842

やがて、クチキダが奥から現れる。

843

クチキダ

・・・まあ、そういうことだよ。

844

ソガ

・・・。

845

クチキダ

・・・そんなに気に病むなって。

846

ソガ

・・・なにがですか？

847

クチキダ

しようがないでしょ。騙されちゃったのは。あんたの責任じゃないんだし。

848

ソガ

・・・作業前点検準備まで全部教えてやったのに・・・。

849

クチキダ

まあ、でも、責任とって、自分が行くっていったんだから。

850

ソガ

・・・ですけど。

851

クチキダ

新人官僚だとか言って、人だまして、こんなところにもぐりこんでさ。

852

ソガ

・・・納得できない・・・。

853

クチキダ

どこが？

855 ソガ ・ ・ ・ なんてこんなとこに来るんですか？一般人が？ワタシここに3年ですよ。3年いて、誰も来なかつた。

856

857 クチキダ まあ、そうだろうけど ・ ・ ・ 死ぬ気なんだからさ。

858 ソガ ・ ・ ・ 別にここに来る必要ない ・ ・ ・ 。

859 クチキダ イロコイに狂った女のやることなんてわかんないもんだよ？

860 ソガ ・ ・ ・ 説得力がまるで無い ・ ・ ・ 。

861 クチキダ まあまあ、戦場では理屈に合わんこともいろいろね。

862 ソガ 確かに、ここは戦場です。

863 クチキダ え？

864 ソガ ・ ・ ・ あの人のどうしました？

865 クチキダ 誰？太鼓？あ、温泉おばさんに捜させてる。なんか言うだけ言い放って、駆け出して行ったから。こいつは偽物だーとか言ってる。

866

867 ソガ ・ ・ ・ なんだあいつが知ってたんだろ。

868 クチキダ そうなんだよ！怪しいだろ？

869 ソガ はあ ・ ・ ・ 。

870 クチキダ さらに、いったい何やっていたのか？あんなとこで ・ ・ ・ 。

871 ソガ わかりません ・ ・ ・ 。

872 クチキダ 宗教団体だと思うけどね。

873 ソガ 虹を崇めてるやつらですか？

874 クチキダ そう。たぶんね。

875 ソガ もう一人の・・

876 クチキダ ゲス男君ね。彼は158号線のぎりまで、電話線を引いてもらってるよ。なんかそういうのできるらしく
877 てね。彼。

878 ソガ ・・なんかすみません・・自分だけ役立たずで。

879

880 **サンテ小屋から出てくる。**

881 **サンテ、ヘッドセットやらを付けてる。**

882 **サンテ、ソガに向き合つと頭を下げる。**

883

884 サンテ すみませんでした。いろいろ・・。

885 ソガ いいけど・・

886 クチキダ もう行く？

887 サンテ 早い方が・・。

888 クチキダ 今、君のお相手が、道路ぎりぎりまで、電話線ひっぱってるから。戻ってきたらさ。

889 サンテ はい。

890 ソガ あの・・

891 サンテ ・・騙すつもりはなくて・・。

892 ソガ ……まあ。あれ、あれなんだけど…。
893 サンテ ほんとに…すみませんでした。
894

すると突然、ソガがサンテの手を握る。

895
896
897 ソガ サンテさん！

898 サンテ な、なんですか？

899 ソガ やっぱだめだ…だめだ、納得できるまで、君を行かせるわけにはいかないから…。

900 クチキダ なに？なに言ってるんだよ。

901 ソガ なんでここに来たのか、それ、はっきりしてもらわないと。自分はだめになってしまいうから。

902 クチキダ おいおい、それはもういいって言ったじゃん？言ったじゃん？え？え？

903 ソガ だめなんですよ！それじゃ！全然だめなんだあ！

904 クチキダ おい！またか？また発作か？発作か？

905 ソガ ちがうんだー！ちがう！ちがう！

906 サンテ ……もうわかりましたよ…言いますから！離してくださいよ。

907 ソガ え？

908 サンテ 手を…
909

910
911
912
913
914
915
916
917
918
919
920
921
922
923
924
925
926
927

ソガ、慌てて握っていた手を離す。

サンテ 私がここに来たことがそんなに気になるなら。

ソガ ・ ・ ・ お願いします。

サンテ ・ ・ ・ 虹のデータがほしかったんです。

クチキダ 虹の？ どういうこと？

サンテ 虹と会社に関与してるデータ。。

ソガ 関与？

クチキダ なにそれ？

サンテ みんな、虹の壁やゾーンって自然現象だって思ってる。

クチキダ だって ・ ・ ・ そうでしょ？ ね？

ソガ うん。

サンテ 虹は自然現象でも、なんでもないんです。

ソガ え？

クチキダ じゃあ、なに？

サンテ ベクレルって会社が、作ってる。

ソガ は？

サンテ 総合エネルギー企業ベクレル。

928 クチキダ ……え？もう一回言って？

929 サンテ ベクレル。

930

931 ソガとクチキダ顔を見合わせて笑う。

932

933 ソガ・クチキダ ぎやははは。

934 サンテ え？なんですか？なんですか？

935 ソガ え？いや・それは・

936 クチキダ ははは・まじかよ・まあいいや。あさ、政府は、自然現象だって言ってるでしょ？？虹は。

937 サンテ 全部ウソです。

938 ソガ じゃあ、我々の観測結果は・

939 サンテ ゴミ箱です、全部。

940 ソガ ……あの…。

941 クチキダ (ソガを制して) いいから、いいから。じゃあさ、なんで？なんであんたは知ってるの？そんなさあ、仰

942 天の事実をさあ。

943 サンテ 社員ですから。ベクレルの子会社の。

944 クチキダ え？社員？

945 ソガ あの…あのね・サンテさん、それって完全にデマですよ。あなた、2chに毒されていますよ。

946 サンテ (あきれて) 私が知ってる虹の壁ができた理由、言いますよ。この町にベクレルが掘削を行うための施設
947 を作りました、5年前です。ただの掘削じゃないんです。超々震度掘削って言って、地球の地殻を突き
948 破って、マントル層近くまで達する穴をあけるんです。
949 なんのために？
950 サンテ 廃棄物を捨てるんです。世界中の核廃棄物を捨てるための穴です。
951 クチキダ 廃棄物って・・・そんな施設を作るなんて言えば、反対運動起ころうでしょう？
952 サンテ 前の町長は反対してたけど、突然・・・死にました。事故で。わかるでしょ？
953 クチキダ (小馬鹿にしている) そういうことか。
954 サンテ その後釜は、賛成派で。そこからはとんとん拍子です。
955 クチキダ (さらにばかにしている) 戦場ではよくあることだね。うんうん。
956 サンテ 最初はそんな現象が起こるなんて誰も思わなかった。やってみてわかったんです。地核のなにかと廃棄物
957 が反応して、地上に現れた。それが虹の壁に囲まれたゾーンなんです。そのことを示すデータがここにあ
958 ると思ったから・・・。
959 クチキダ ちよつと・・・サンテさん。あんたいい年した大人なんだから、そんな出鱈目信じてたら笑いものですよ。
960 サンテ みんなそう言う！大体！ウソだ！出鱈目だ！専門家がちがうって言うてる！
961 ソガ あははは、当たり前ですよ！そんなにいい加減なデマをだれが信じるんですか！いいですか！虹の壁の出
962 現っていうのは、これは政府の正式な発表で、自然現象ってことになってるんです。ですから私もこ
963 こで環境庁の出先機関として観測を続けてるわけです。これは・・・もう常識なんですよ！常識ですよ！な
964 にを訳のわからない・・・誰が信じるんですか！誰が・・・
965 サンテ 私は死ぬ気だから全然平気！
966 クチキダ 自分は死ぬから、あとはどうにでもなれ！って、そういうのよくないぞお。

967 サンテ ワタシがデマばらまいてるって言うんですか？
968 クチキダ だって、結構な人が被災してるんだよ？そんなデマばら蒔いたらさあ・・・。
969 サンテ いいですか？少数の犠牲のおかげでこの世界は回ってる。大勢の幸せのためにね。だから多少の犠牲は仕方ないんです！そんなことのためにわざわざ問題を掘り返したりしないんですよ！
970 ソガ そんなことって・・・。

トリドウ、太鼓をたたきながら奥から現れる。

歌いながら踊り狂う。

974 トリドウ アヤーーハイアアーードンドットツツ、
975 クチキダ ああ、ちよつとちよつと、止めて！止めて！
976 トリドウ トリドウ、一瞬止めるがまた始めようとする。
977 クチキダ ちよつと・・・今は、あれですから・・・。
978 トリドウ ・・・あうあう。
979 クチキダ あのね・・・ちよつと宗教の人かなんか知りませんが、いい加減にしませんか？
980 トリドウ ・・・あれ？なにを？なにを？
981
982
983
984

985 クチキダ あなた、混乱を巻き起こしてるだけなんですよ？わかってるかなあ？現状を。158号線に虹が出ちゃう
986 かも知れなくなってるんですよ！

987 トリドゥ おおおお？虹を讃えよう！虹をく虹をく（ドンドン）

988

989 トリドゥ、太鼓を叩く

990

991 トリドゥ アイヤラウツパ！アイヤラウツパ！アイヤラウツプ！アイヤラウツプ！おまんらも虹を崇めれば、幸せが
992 おとずれるんだしー。

993 クチキダ それが、オタクらの教義ってこと？

994 トリドゥ 虹こそ神！人間のはかり知れない、神の力なんだしー！これが！これこそが！自然と言う名の神のなせる
995 わざなんだしー。これがヨーコン会の教えだしー！

996 ソガ よーこん会？

997 トリドゥ 自然派修道教会「ヨー、コンタラビスタチオ」略してヨーコン会なのでしー。

998

999 トリドゥ、太鼓を叩いて踊り始める。

1000

1001 トリドゥ アイヤラウツパ！アイヤラウツパ！アイヤラウツプ！アイヤラウツプ！

1002 クチキダ ちよっと！いいからそれは止めて！もう！そういう変な踊りしかできないのかよ？

1003 トリドゥ できまつー！

1004 全員 え？
1005 トリドウ UFO！
1006

トリドウ、ピンクレディーのUFOを歌い踊る。

1007 サンテ もういい加減にして！
1008 トリドウ まだまだレパートリーはあるでしー、サウスポーとか渚のシンドバットとか？
1009 サンテ ああああ、うるさいなあ！このお婆さん！
1010 トリドウ はあ？
1011 サンテ あんたたちみたいなのが騒いでるから、虹の真相がゆがめられちゃってるですよ！
1012 トリドウ をばさん？をばさん？って言ったのしー？
1013 サンテ いいましたか？
1014 トリドウ はあ？？若くてかわいい女ならなんでも許される時代は過ぎ去ったんだしー！これからはビューティフル
1015 からモーレッツの時代だしー！
1016 サンテ なんですか？それ？
1017 トリドウ だいたいあなたの言ったことだーれも信じねーでつ？
1018 サンテ 聞いてたんですか？
1019 トリドウ 山中響きわたる声で喚いてりや、聞こえるだしー。
1020 トリドウ あんですか？それで馬鹿にしに来たんですか？
1021 サンテ
1022

1023 トリドウ 大勢の幸せのためなら、ほんの少数の犠牲は仕方がないと思うか？

1024

1025 トリドウ、サンテを指さす。

1026

1027 サンテ それは、その通りでしょ？

1028

1029 全員、サンテを見る

1030

1031 トリドウ あははははは、やーぱり、最低の人間。

1032 サンテ はあ？

1033 トリドウ お前は、年齢以外、ワタシに何ひとつ勝ってないんだしー！

1034 サンテ なんですか！それ？

1035 トリドウ イヤッホー！ドンドットドンドット！アラララララ！

1036

1037 その時、ハジが下手奥から現れる

1038

手に、長い棒のようなものを持っている。

1039

ハジ このインチキ教！

1040 全員 え???

1041 ハジ 私の金を返せー!

1042

1043 ハジ、トリドウに殴り掛かる。

1044

1045 トリドウ なんじゃー?!

1046 全員 えー?

1047

1048 暗転。

1049

1050

1051

1052

1053

1054

1055

1057 再びしばらく時間は経った。クチキダ、サンテが中央の机の上に載った通信機に向かい会って

1058 いる。

1059
1060 クチキダ
1061 (マイクに向かってしゃべる) あーあーえーえーえー？

1062
1063 なにも聞こえてこない。

1064 サンテ
1065 どうです？

1066 クチキダ
1067 (マイクに) あーあー、マイクテスト・・マイクテスト・・。あー、あーひーひー、チエチエチエ・・
1068 サンテ
1069 大丈夫なんですか？

1070 クチキダ
1071 ・・・僕は戦場カメラマンですよ。こ慣れているんだよ。この手の戦場通信に関しては！
なら、いいですけど。

1070 サンテ
1071 失敬だな。君は。
すみません。

そこに、ソガが建物奥から現れる。

- 1072
1073
1074
1075
1076
1077
1078
1079
1080
1081
1082
1083
1084
1085
1086
1087
1088
1089
-
- クチキダ どう？泣き止んだ？
ソガ あ、まだ・・・。
サンテ まだ納らないんですか？
ソガ でも泣きながら、きのこ料理するとか言ってたから、大丈夫かと思えますけど・・・
クチキダ あんなに興奮するとはなあ。
ソガ 驚きましたよ。
サンテ ほんとに。だって、いきなり殴りかかるなんて、冷静さを失ったら人間終わりですよね。
クチキダ っ、あ、あんたもだよ！
サンテ え？
クチキダ 俺は、再現VTRを見ているかと思ったよ。
サンテ なにを言いだすんですか？
クチキダ いきなり、刃物で切りつけたんだから、あんたの方がタチ悪いんだよ！
サンテ ワタシの場合は、全然違いますよ。
クチキダ 同じなんだよ！こっちの衝撃度は！
ソガ まあ、でも全財産、つぎ込んだっちゃったっていうんじや・・・わからない気もしますけど・・・。
クチキダ その上、横領までしてって・・・ねえ。怪しいと思わないのかねえ？え？虹を崇める宗教なんてさ。

1090
1091
1092
1093
1094
1095
1096
1097
1098
1099
1100
1101
1102
1103
1104
1105
1106
1107

ソガ まあ、どうなんでしょう？

クチキダ まあ、ゲス男にひっかかるのも同じかあ……。

サンテ なんて、ワタシを見るんですか？

クチキダ いや、人間なにかにはまちやうと、回りが見えなくなるんだなあど改めてね。

ソガ まあでも、ただの信者Aの人に金返せーって言ってみたところで・

サンテ どうしようも無いですよ。そんなこともわかんないかなあ？

クチキダ んんだから、あんたが言うなよ。

サンテ あの宗教って、ベクレルの作った奴ですよ。

クチキダ・トリドウ えー！

サンテ だって、よく出入りしてたもん。ヨーコン会とかって。お金出してきましたよ。相当。

クチキダ そ、それじゃあ。

サンテ 偽宗教ですよ、あんなの。

その時、通信機からトリドウの声

トリドウ（声）・・・聞こえまつかー。

サンテ あ、聞こえます！どうしました？

トリドウ（声）これから158号線に入るだつー。

1108 クチキダ なにか変りないか聞いて。
1109 サンテ（声） なにか変りないですか？
1110 トリドウ（声） ない。
1111 クチキダ なんか見えるものは？
1112 サンテ（声） なんか見えるものありませんか？
1113 トリドウ（声） ない。
1114 クチキダ なんか聞こえるのものは？
1115 サンテ なんか聞こえる・・・（クチキダに）自分で聞けばいいじゃないですか？
1116 クチキダ いや、なにかあれでしょうが？
1117 トリドウ（声） 行くどー。
1118 サンテ トリドウさん・・・。
1119 トリドウ（声） あうあう・・・。
1120 サンテ ・・気を付けて。
1121 トリドウ（声） あうあう。
1122
1123 通信切れる。
1124
1125 サンテ 行っちゃった。
1126 クチキダ うん。

1127 ソガ まあ、・・・自分で行くって言ったんだから。
1128 クチキダ うん。
1129 サンテ どうしてだろ？
1130 クチキダ うん？
1131 サンテ どうして、ワタシと代わるなんて言い出したんだろ？
1132 クチキダ そりゃあれでしょ？
1133 サンテ なんですか？
1134 クチキダ わかんない・・・。
1135 サンテ ・・・・もう一つわかんないことがあつて。
1136 ソガ あの人の事で？
1137 サンテ どうして私が、偽役人だってわかったんだろ？
1138 クチキダ そりゃ、あれでしょ？
1139 サンテ なんですか？
1140 クチキダ ・・・・あてずっぽ？
1141 ソガ ・・・・ないでしょう。それは。
1142 クチキダ 適当なこと言つてさ、混乱させたかったんだよ。そしたら偶然、当たっちゃつてさ。つていう。
1143 サンテ ・・・・どうも、おかしい気がする。あの人、
1144 ソガ 確かになんか無理してるっぽい感じがしたなあ。
1145 クチキダ え？なにそれ？

1146
1147
1148

ソガ なんか、そもそもの本人のキャラじゃないっていうか・
サンテ ワタシもそう思います。なにか隠してる。

1149

そこにハジがよろよろと建物から現れる。

1150

ハジ あれ、信者じゃないわ・・・

1151

クチキダ おいおいいきなりどうしたの？

1152

ハジ ヨーコンの信者じゃないわ・・・あの人は・・・

1153

ソガ ええ？

1154

ハジ ヨーコンの信者があんなことできるわけない。本物の信者は・・・本物の信者なら自分から虹に向かって

1155

いくなんてできるはずないから！

1156

サンテ、通信機のマイクを取る

1157

サンテ（マイクに） 聞こえますか？トリドウさん。トリドウさん。

1158

トリドウ（声） ・・・聞こえるだしー。

1161

サンテ（マイクに） あなた何者なんですか？

1162

トリドウ（声） ・・・なに？

1163

サンテ（マイクに） ほんとは何しにきてたんですか？どうして私が偽物だってわかったんですか？

1164
1165
1166
1167
1168
1169
1170
1171
1172
1173
1174
1175
1176
1177
1178
1179
1180
1181
1182

クチキダ いや、いまさら言うわけないでしょ？

サンテ（マイクに）トリドウさん、あなたはほんとは、信者なんかじゃないでしょ？

クチキダ 言うわけないって。

サンテ（マイクに）トリドウさん！

トリドウ（声が変わる）あんたの言う通りだよ。ワタシは信者なんかじゃない。

全員 え！

クチキダ 言っちゃったよ。

トリドウ（声）ワタシは、信者のフリしてるだけ。そういう役目だから。

ハジ やっぱり！

サンテ（マイクに） なんのため？

トリドウ（声） 事実を誤魔化して、うやむやにするために雇われてんだよ。

サンテ（マイクに） 事実ってなんですか？

トリドウ（声） 知ってるだろ？虹はベクレルが作ってる。

クチキダ まさかの・・・逆転？

ソガ そんな・・・嘘ですよ！

クチキダ おいおいおい、なんで、急にそんなこと言い出したんだ？え？おかしいだろ？

トリドウ（声）・・・虹が・・・虹が出始めた。

全員 え？

トリドウ（声） 周りに・・・虹が・・・出始めてる・・・。

1183
1184
1185
1186
1187
1188
1189
1190
1191
1192
1193
1194
1195
1196
1197
1198
1199
1200
1201

サンテ（マイクに） 早く、引き返して・・・。

トリドウ（声） もう・・・間に合わない。

サンテ そんな・・・。

トリドウ（声） まだまだ・・・行けるとこまで行く。

ソガ なんとか、なりませんか！

トリドウ（声） ワタシは、自分のやってきたことに後悔はしないけど、犠牲になった人のことは忘れない・・・

サンテ ……。

トリドウ（声） 虹はベクレルが作ってる。これはまちがいない事実。

クチキダ じゃあ、止めればいいじゃん！今すぐに！

トリドウ（声） それでもやめられないんだ。はじめてしまったものは簡単に止まらない！虹はベクレルが政府と一緒に作ってる。やってるのは人間なんだ。同じ人間がやってるんだ。

通信に段々雑音が混じる。

サンテ（マイクに） トリドウさん！トリドウさん！聞こえますか？

トリドウ（声） ……最後の・・・ザー・・・ザー。

サンテ（マイクに） なんですか？もう一度！

トリドウ（声） ……ザー・・・頼みを・・・ザー・・・

クチキダ なに？なんだ？

1202 サンテ（マイクに） もう一度言つて！

1203 トリドウ（声） ……お前が…ザー私…に勝つてるところをみせてくれ…ザー…えらそうに言った…
1204 ザー…から。

1205 サンテ ええ？

1206 トリドウ（声） ……踊れ。ザー。

1207 サンテ（マイクに） え？踊れ？

1208 トリドウ（声） そう…なんでもいい…ザー…景気付けを踊れ…ザー…ワタシ…ザー宗教の信者
1209 な…ザ…合つてないと思つて…我慢してやった…ザー。そもそもピンクレディー…
1210 ザー…じゃないし。

1211 クチキダ スキでやってるのかと。

1212 トリドウ ……もうそんな…ザー…時間が…。

1213 サンテ ……わかったよ。

1214

1215 **サンテ、ipodを取り出す。**

1216 **それを、通信機につなぐ**

1217

1218 サンテ 聞こえますか？

1219

1220
1221
1222
1223
1224
1225
1226
1227
1228
1229
1230
1231
1232
1233
1234
1235
1236

そのiPodから「シェイク イット アップ」が聞こえる。

トリドウ（声） ……聞こえる……ザー。

サnte 見えないでしょうけど、おどりますよ！一回しかやらないから！

シェイク・イット・アップ

ダンス。

サnte みんなも！踊れよ！このやろー

途中から全員で踊りだす。

サnte ワタシがあなたに負けてるのはおっぱいの大きさだけだから！聞こえた？トリドウさん？トリドウさん！

トリドウ ……き……。

クチキダ おいー！

サnte トリドウさん！

1237

ソガ

・・だめ？・・だめ？

1238

クチキダ

あきらめるなー！戦場では、あきらめたら、それでおしまいだぞ！

1239

ハジ

最後、さよならって聞こえたけど・・。

1240

サンテ

うんうん・・。（泣き始める）

1241

1242

1243

そっく、ゴミが下手奥から現れる。

1244

1245

ゴミ

どうしたんですか？

1246

ハジ

あの人が、虹に。

1247

ゴミ

飲み込まれたんですか！

1248

ソガ

そういうこと。

1249

ゴミ

ちよつとこれ見てくださいよ。

1250

1251

ゴミ、バックパックを持っている。

1252

ハジ

なに？

1253

ゴミ

あの太鼓女のテントから、見つけたんですよ。

1254

ハジ

なにこれ？

1255

そのバックパックの中からカメラやらなにやら出てくる。

1256

1257

ゴミ

なにか観察してたんですよ。ホラ！

1258

1259

ゴミ、写真を見せる。

1260

クチキダ、その写真を見て、

1261

1262

クチキダ

あんたが写ってる・・・。

1263

1264

写真をソガに見せる。

1265

1266

ソガ

全部・・・自分だ・・・。全部自分が写ってる・・・

1267

クチキダ

どういうことだよ？え？

1268

ゴミ

これも・・・

1269

ゴミ、アイドゥの持ち物の中から、身分証を見しげる。

1270

1271

1272 クチキダ おいおい、あんたのご同輩だぞ！

1273 サンテ 環境庁腐侵領域特別調査チーム・・・トリドウ・アミ・・・って？これ？

1274 ソガ なんて？自分なんかを・・・

1275 クチキダ この人がにせものだってことを知ってたわけだ。本物は自分だったってわけだもんね。

1276 ソガ ・・どうして自分を・・・

1277 ゴミ やっぱり・・・ほんとだったんだ。

1278 クチキダ なにが？

1279 ゴミ 虹の壁に近づくと、人体に影響が出るって。

1280 ソガ え？

1281 ゴミ ・・監視哨っていうのは、全部、そのためにあるんだって。

1282 クチキダ どういうこと、それ？

1283 ゴミ 誰かをわざわざ虹の近くに張り付かせて、影響を調べるため。

1284 ソガ 人体実験。

1285 ゴミ そう。

1286 ハジ それは観察して、報告してたんだ。あいつは。

1287 クチキダ どうなるんだよ。虹に近づくと。

1288 サンテ そんなこと・・・ワタシは知りません。

1289 ゴミ ・だんだん・・・精神に異常が来て、次に徐々に 内臓が破壊されてく。で、最後は・・・死ぬ。

1290 ソガ 自分は・・・3年だ・・・。

全員、ソガを見る。

- 1291
1292
1293
1294
1295
1296
1297
1298
1299
1300
1301
1302
1303
1304
1305
1306
1307
1308
1309
1310
-
- ソガ
なるほど！わかりましたよ．．．いろいろと。
ソガ
なによ。
ソガ
なんで、3年もほっておかれたのか？いつも誰かに見張られた気がしたのも。それに、自分がだんだんおかしくなってるのもわかった。そうか．．．そのせいだったのか？転勤が決まった時の上司の申し訳なさそうな顔の理由も、同じに配属されたやつが泣いてた理由も．．．そのせいだったのか？．．．ああ．．．ようやくわかった。あはははは。
ハジ
ねえ．．．大丈夫？
ソガ
ああ、ぜんぜん大丈夫ですよ。かえって清々しいですよ。はははは。自分は、人体実験されちゃったのか？はは。
サンテ
（ゴミに）なんで知ってるの？そんなこと。
ハジ
いやに詳しいわね。
ゴミ
自分は．．．前町長の元で、ベクレルについて調べてたんです。
全員
え？
ゴミ
前市長は、ベクレルのこと疑っていて。それで自分をはじめとする数人のチームで、ベクレルことを内調したんですよ。
サンテ
．．．それって．．．もしかして．．．
ゴミ
うん．．．まあ．．．そういうこと．．．。

1311 サンテ なにそれ……。それって……。最初から利用するつもりで？

1312 ゴミ ……そういうこと。

1313 サンテ 利用した？私を？なにそれ？好きだったわけでもないってこと？

1314 ゴミ ……ああ、悪いとは思っていないから、いまでも。

1315 サンテ なにそれ……。

1316 ゴミ なんとでも思っていていいよ……。あんたらに、虹で被災した人間の気持ちなんかかわかんないだろうからさ。

1317 サンテ 被災？

1318 ゴミ 自分の両親と妹、全員、あの虹の向こう側だよ。内幸町の3分の1がゾーンの内側に飲み込まれた……。

1319 ゴミ 三百人も……。向こう側に……。

1320 ソガ そうなんだ……。

1321 ハジ ……ワタシはわかるよ。その気持ちは。

1322 ソガ どなたか被災したんですか？

1323 ハジ 夫と子供がね……。

1324 ソガ そうですか……。

1325 ハジ 虹が誰かによってできたなんて……。そんなこと絶対信じたくないよ。自然にできたんなら……。それなら……。あきらめもつく。神様に連れていかれたんだって……。そう考えなくちゃ……。やりきれないよ。

1327 ゴミ 自分は、ベクレルを許しませんよ。絶対。たとえその社員であっても。

1328 サンテ ……私を恨んでも解決しない……。

1329 ゴミ じゃあ、誰を恨めばいい？

1330 サンテ だって・・・だれかが犠牲になるのは仕方ないでしょ？大勢の人が幸せに生きるためには！

1331

1332

全員沈黙

1333

1334 ゴミ 言った通りだ・・・犠牲になった少数のことなんかわからないだって。

1335 サンテ ・・あなたも同じこと言ってるよ。

1336 ゴミ なにが？

1337 サンテ 私は、あなたにとっては、少数の犠牲者ってことだ・・・

1338 ゴミ ・・・。

1339 サンテ だから、ほんの少しだけ・・・少数の犠牲者のこともわかる。

1340 ハジ ・・・ここにいる人はみんな被害者、全員！虹の被害者。

1341 サンテ ・・・そうかも知れない。でも・・・加害者でもあると思う。みんな・・・

1342 ハジ ・・・そうだね。ちよっとおなか減ったでしょ？キノコ食べる？

1343

1344

ハジ、建物に去る。

1345

1346 ソガ 今は、この次の事を考えないとね？そうですね？（クチキダに）

1347 クチキダ （呆然としている）え？あ・・・うん・・・。

1348 ソガ 決死隊は失敗したんですから。残念ながら。しかし、その志を無駄にするわけにはいかないでしょ？
1349 ゴミ もう、町に下る道はありませんよ。・・・これは・・・だめなんじゃないですか？
1350 クチキダ ・・・そうね・・・ダメっぽいかなあ。・・・これは・・・もう。
1351 ソガ 何をゆってるんですか！
1352 全員 え？
1353 ソガ いいですか！あきらめたら戦場では死だ！死が待っているんだ！（クチキダに）ですよね？
1354 クチキダ え？・・・ああ。そうかなあ？
1355 ソガ そうなんですよ！こういう切羽つまった時こそ団結が必要なんだ！そうですよね？（クチキダにふる）
1356 クチキダ いやあ・・・うん・・・そうかなあ？・・・
1357 ソガ どうしたんですか！今こそ戦場を生き延びた男の真価を發揮するときじゃないですか！
1358 クチキダ ちよつと・・・あの・・・トイレに・・・
1359
1360 クチキダ、建物の奥に去る。
1361
1362 ゴミ どうしたんでしょう？
1363 ソガ わかりませんよ。急に弱腰になってましたね。
1364
1365
1366 その時、下手奥からがさがさと音がする。

1367 ゴミ 出た！
1368 全員 え？
1369 ゴミ U M A だー！
1370 マタギ、ウシヤマ現れる。
1371
1372
1373 ウシヤマ いや、ウシヤマでい。
1374 全員 えー？
1375 ウシヤマ うまじゃねーで、ウシヤマ。ウシヤマでい。おらは。
1376 ゴミ え？じゃあ・・U M A の正体って？
1377 ウシヤマ でい、うまじゃねーでい。ウシヤマ。
1378 ハジ どういうこと？
1379 ウシヤマ どういうことって？こつちが聞きてーで。なーに大騒ぎしてるでい？って思っで。ここはあれでい？な
1380 ゴミ んか観測のあれでい？やたら入っちゃ怒られるで？
1381 ゴミ なにしてるんですか？ウシヤマさんは？
1382 ウシヤマ あ？おれ？
1383 ゴミ そう。
1384 ウシヤマ そりやおめーあれで、てーペーペーって知ってる？うん？知ってる？
1385 サンテ なんですか？

1386 ウシヤマ あれ？しんねーの？そりや勉強不足！あんた。
1387 サンテ はあ。
1388 ウシヤマ かんたいへーよーぼうえきなんたらよー。しんねー？
1389 ハジ かんたいへーよー？
1390 ウシヤマ そうそう。
1391 ゴミ それって、TPPじゃないですか？
1392 ウシヤマ それよ！それ！
1393 ゴミ TPPがどうしたんですか？
1394 ウシヤマ だからー。てーペーペーで、マツタケがえれーことになるでい。中国とか北朝鮮とかの安いーのがどんど
1395 んへーつてくるつて話でいー。
1396 ゴミ ・・・そうなんですか？
1397 ウシヤマ そういうことを農協は、なーんもしねーんだからー。もう任しておけねーつーこつせい。そんで、昨日
1398 からあれでえ、前田んとこのじーさまも腹くだしたー腹ーくだしたーつつて、大騒ぎずら？もうてーへ
1399 んなこつてせー。
1400 ゴミ ・・あの・・それでウシヤマさんは？なにをここで？
1401 ウシヤマ おーおーあれで！あれ！まつたけ泥棒！
1402 全員 まつたけ泥棒？
1403 ウシヤマ そう！こいつのおかげで去年なん、おめー200マンもやられたでねえ！
1404 ハジ なにそれ？
1405 ウシヤマ そいつが今年もここに現れたつつて、見張ってたでい。

1406 ゴミ 見張ってたって・・・どんな奴なのか知ってるんですか？
1407 ウシヤマ おー。あれだなんか、戦場カメラマンみてーな恰好してるでい。
1408 全員 えー？
1409 ウシヤマ あれ？しんねー？なーんかほらーゆうーくりしゃべるやついるで？しんねー？
1410 サンテ ・・知ってます。
1411 ウシヤマ あれ？知ってる？ほら、なんか、変なベレー帽みてーなの被って。
1412 ゴミ ・・はあ。
1413 ウシヤマ あれ？しんねー？ほら、あのベスト？着てて。しんねー？
1414 ハジ 彼・・・どうした？
1415 サンテ トイレに・・・。
1416 ゴミ ウシヤマさん・・・それほんとにマツタケ泥棒ですか？
1417 ウシヤマ 見つけたら、ただおかねーからな。打ち首獄門でい。
1418 ソガ ちよつと・・・これ。
1419 ウシヤマ あれだわね、今年はへー、雨少なかったで？豊作期待できるんでい。そこでそこへ来ててーペーペーなん
1420 つー話でい？ほんでおめーまったけ泥まで出りやー、おめーさま死んじゃまうわ、そんなもん。
1421 ゴミ ちよつと、ウシヤマさん・・・ちよつとここで待っててくれますか？
1422 ウシヤマ うん？ああ、そりゃいいけども。おれも忙しいで。
1423 ゴミ あの・・・ちよつと。
1424 サンテ 私ちよつと見てくる。

1425

1426

1427

1428

1429

1430

1431

1432

1433

1434

1435

1436

1437

1438

1439

1440

1441

1442

サント、建物奥に去る。

同時にハジ、キノコ汁を持って現れる。

ハジ
あれ？誰？

ゴミ
UMAの正体です。

ウシヤマ
ウシヤマ。馬じゃねーでね。

ハジ
ええ？

ソガ
(ハジに)・・・なんか松茸泥棒を・・・

ウシヤマ、キノコ汁を喰い始める。

ウシヤマ
あれ？あんた？あれじゃねーで？温泉の、受付の。

ハジ
そう。

ウシヤマ
おらよく行くでい。あすこのお湯はいいでねえ。あれ？何してるでい？こんなとこで。

ハジ
うん。ちよっとね。158号線が、通れなくなったから。

ウシヤマ
ほうほう。なして？

ハジ
あれだわ。虹が出たっつって。

1443 ウシヤマ ほーう。
1444 ハジ ここからだ、もう町へ降りる道がねーじゃんね。
1445 ウシヤマ なに言ってけつかる。んなもんいつくらでもあるで。
1446 ハジ え？
1447 ゴミ なんて言いました？
1448 ウシヤマ なに言ってけつかる。
1449 ソガ いやいや、そのあとです。
1450 ウシヤマ あるで。
1451 ソガ いや・・あの。
1452 ウシヤマ ジョーダンだ。わかってるって。そんなもんはいつくらでもあるでい。このきのこうめーねえ。
1453 ハジ どこに！
1454 ウシヤマ え？まずあれで・・ほら、ここへ登ってくるときに温泉のそこから半分くれー行ったとこに祠があったで
1455 い？その裏に道があつてでい、でもこれは途中で二手に分かれてるで、注意しなくちゃいけねー
1456 で？・・ぬははは、にははは。片方は、にはははは、元んところにもどつちまうだね。虹ン中へ入つちまう
1457 ことんなるで。だで、その二股を、・・おほほほほ。
1458 ソガ どうしました？
1459 ウシヤマ いはははは。ぎやはははははは。
1460 ゴミ あれ？あれ？どうかしましたか？
1461 ウシヤマ これ、おめーぎやはははは・わらい茸・ひひひひひひh。
1462 全員 えー！

1481 ソガ 戦場カメラマンは？

1482 サンテ 逃げた・・・。

1483 ソガ じゃあ・・・。

1484 サンテ マジでまつたけ泥棒だったんだ。

1485 ソガ なんてことだ・・・。

1486 サンテ どうしよう。

1487

1488

1489

1490 サンテ なにしてるんですか？

1491 ソガ 私、行きます。

1492 サンテ え？

1493 ソガ さつき、ウシヤマさんが教えてくれました。二つ林道があるそうです。でも片方は、虹の中へ戻ってしま
1494 うかもしれない。二手に分かれた道のどちらかが、町へ下れる道です。・・・。

1495 サンテ 二つの道・・・。

1496 ソガ その林道のどっちかが町まで通じてる。

1497 サンテ ああ・・・でも、どっちか？

1498 ソガ 私は、右の道を選びますよ。それで、私が、もし行きつけなければ、左の道をいけばいい。じゃあ。

1499

ソガ、なにやら準備を始める

ソガ行こうとする。

1500
1501
1502
1503
1504
1505
1506
1507
1508
1509
1510
1511
1512
1513
1514
1515
1516
1517
1518

サンテ

ソガさん！待って！

ソガ振り返る。

サンテ

待ってください。

ソガ

急がないと、虹が林道もふさいでしまうかも知れない。

サンテ

ソガさんが行くことない。私が行きます。

ソガ

いいんです。私で。

サンテ

だって、ソガさんは、ほんとの被害者じゃないですか？みんなの中で唯一、誰も傷ついたり、迷惑かけたりしてないでしょ。でも私はちがう。裏切られたとは言え、人を殺そうとした……。ソガさんだけが……

ソガ

ちがうんです。

ソガ

私もなんです。

サンテ

は？

ソガ

作業前点検しましょう！

サンテ

どうしたんですか？突然？

ソガ

最後の気合いを入れるんです！

1519	サンテ	・・・はい。
1520		
1521		サンテとソガ、ヘルメットをかぶり準備をする。
1522		
1523	ソガ	作業前点検開始！
1524	サンテ	作業前点検開始します。
1525	ソガ	ヘルメット
1526	サンテ	ヘルメットファイヤ！
1527	ソガ	手袋！
1528	サンテ	手袋ファイア！
1529	ソガ	上着！
1530	サンテ	上着ファイア！
1531	ソガ	ベルト！
1532	サンテ	ベルトファイア！
1533	ソガ	ズボン！
1534	サンテ	ズボンファイヤー！
1535	ソガ	ブーツ！
1536	サンテ	右ブーツファイア！左ブーツファイア！

1537 ソガ 足裏！
1538 サンテ 右足裏 ファイア！左足裏ファイア！以上、作業前点検完了！
1539 ソガ よし！休め！

サンテ休めの姿勢

1540 ソガ
1541 ソガ
1542 ソガ では、観測の結果をお伝えします。
1543 サンテ え？
1544 ソガ 私がここで、ずっと観測して得た、確実な結論です。
1545 サンテ え？なんですか？いきなり。
1546 ソガ このままでは、あと28年で地球は、虹の壁に覆われます。
1547 サンテ え？
1548 ソガ 虹の壁とそれに覆われたゾーンは、拡大しています。
1549 サンテ え？
1550 ソガ そうです。毎日、すこしずつ拡大してるんです。
1551 サンテ 移動ではなくて？
1552 ソガ いいえ。大きくなってるんです。どんどん、どんどん。
1553 サンテ それって・・・。
1554 ソガ 誰にも言えませんでした。もちろん報告もしてません。

1555 サンテ どうして・・・

1556 ソガ 怖かったんです。自分の報告がどんな影響を及ぼすか。自分が黙っていても・・・誰かが報告するだろうと
1557 思っていました。

1558 サンテ ・・・・でもそんな重大なこと。

1559 ソガ はい。重大です。でも、こうも思いました。こんなところに閉じ込められてみる！と。そしたらわかりま
1560 すよ。もう、誰かに迷惑とか、被害がとか、なんてどうでもよくなるんですよ。もう、ほんとにどうでも
1561 よくなるんです。でもね、もしかしたらそれも虹の影響かもしれませんね。

1562 ソガさん・・・

1563 ソガ ~~たぶん、もうワタシは長くない。だからあなたにだけはこれを言っておきます。今止めないと、とんでも~~
1564 ないことになる。

1565 サンテ ・・・・はい。

1566 ソガ もしかしたら、政府やベクレルも知ってるのかも知れない。でも黙ってる。

1567 サンテ ・・・・ソガさん。

1568 ソガ ・・・・サンテさん・・・ファイヤーの意味は？

1569 サンテ ・・・・わかりましたよ・・・今。

1570 ソガ じゃあ。

1572 ソガ、下手から去る。

1573 ロミが奥から来る。

1574
1575
1576
1577
1578
1579
1580
1581
1582
1583
1584
1585
1586
1587
1588
1589
1590
1591
1592

ゴミ
どこ行くの？ソガさん。
林道を下るんです。
サンテ
え？だってどっちが町に出るかわかんないでしょ？
ゴミ
それでも、行くんです。あの人。
サンテ
．．そう．．そうか．．
ゴミ
決心したんだと思う．．犠牲になる少数のためにつて。
サンテ
．．そうか。
ゴミ
．．ウシヤマさんは？
サンテ
吐かせて寝かせた．．。ハジさんが診てるけど．．。
ゴミ
そうなんだ。
サンテ
ソガさん．．上手く行くといいなあ。
ゴミ
大丈夫。きっと。
サンテ
そうかな。
ゴミ
希望はある。
サンテ
あれ？死ぬ気じゃなかったっけ？
ゴミ
もう止めた。
サンテ
．．そう。
サンテ
あんたの事も。

1593 ゴミ 許すってこと？
1594 サンテ うん。いや、許さないけど、許す。
1595 ゴミ ……うん。
1596

通信機に音が入る。ソガの声。

1597
1598
1599 ソガ（声） 聞こえますか？
1600 サンテ（マイクに） ああ、ソガさん！聞こえます！聞こえます！
1601 ソガ（声） 順調に下ってます。まだ、虹の兆候は今のところは…。
1602 サンテ（マイクに） ……気を付けて。
1603 ソガ（声） ……森は静かです。…すごく静かです。ああ、やっぱりいいなあ。…私、この森
1604 がすごく好きですよ。
1605 サンテ（マイクに） ……うん。
1606 ソガ（声） サンテさん。
1607 サンテ（マイクに） はい。
1608 ソガ（声） あなた言いましたよね。大勢の幸せのために、少数が犠牲になるのは仕方ないって。
1609 サンテ（マイクに） え？
1610 ソガ（声） 私、思ったですよ。今は、大勢の幸せのためだって言ってるけど、でもやがて知らないうち
1611 に、少数の人の幸せのために大勢が犠牲になってることに気が付くんじゃないかなって。

1612 サンテ（マイクに） 少数の幸せ・・・

1613 ソガ（声） でもね・・・その時はもう間に合わないですよ。自分みたいだね。

1614 サンテ（マイクに） ……。

1615 ソガ（声） 虹は自分たちの鏡みたいですよ。あれが、人間です。

1616 サンテ（マイクに） そうかもしれない。

1617 ソガ（声） そうですよ。

1618 サンテ（マイクに） どうすればいいですか？私たち？ソガさん！

1619 ソガ（声） ああ！虹だ！

1620 サンテ（マイクに） ソガさん！

1621 ソガ（声） 虹が・・・虹が・・・ああ、そうなんだ！・・・そういうことなんだ・・・。

1622 サンテ（マイクに） ソガさん！ソガさん！

1623 ソガ（声） みんなに伝えてください。一人でも多くの人に・・・ああ、美しいなあ・・・こんなにきれ

1624 いなんだ・・・

1625 サンテ（マイクに） ソガさん！

1626 ソガ（声） みんなに・・・虹は・・・そういうことだったんだ！

1627 サンテ（マイクに） ソガさん・・・。

1628 ソガ（声） 虹は・・・虹は・・・。

1629 サンテ（マイクに） ソガさん！ソガさん！返事して！ソガさん！ソガさん！

1630

1631 通信機の音が途絶える。

1632 サンテ、がっくりと膝をつく

1633

1634 ゴミ ……ソガさんは一体なにを見たんだろう…。

1635 サンテ (泣き始める) わかんないけど…良いことだったらうれしい。

1636 ゴミ 気が付かなかったんだなあ。

1637 サンテ ……。

1638 ゴミ 自分たちはさあ、自分がはまってしまつて身動きができなくなつてることに。

1639 サンテ ……。

1640 ゴミ それはさ、今はまだ、誰か少数の人が犠牲になつてるからだな。

1641 サンテ 少数の…。

1642 ゴミ 少数の人たちがその犠牲を背負っているからだよ。そんなこと、知つてたのに、わかつたのに、知らないフリしてただけなんだよなあ。自分たちは…。

1644 サンテ それでも…今はちがう。私は、少なくともちがう。

1645

1646 サンテ、出発の準備を始める。

1647

1648 ゴミ どうするの？

1649 サンテ

もう一本の道に行く。ソガさんは右へ行った。だから左の道。

1650

1651

ゴミ、立ち上がって、虹の方を見る。

1652

1653 ゴミ その道ももうダメだろうなあ。

1654 サンテ

え？

1655 ゴミ もうじき、この周り全部が虹に飲まれるんだ。

1656 サンテ え？え？なに言ってるの？

1657 ゴミ 助けは来ないよ……。

1658 サンテ

え？

1659 ゴミ 最初から助けなんか来ない……。

1660 サンテ ど、どういうこと？

1661 ゴミ これはわざとだ。

1662 サンテ わざと？どういうこと？わざとって？

1663 ゴミ 自分が、おぼけ荘に行かされたのは、わざとだ。担当でもないのに……。虹が出る兆候があったのに、

1664 ゴミ 行かされたんだ。わかってたんだ、最初から。この辺り全部に虹が出るって。

1665 サンテ そんな……。

1666 ゴミ もう、自分だけなんだよ。ベクレルの事知ってるのは、役所ではさ……それにさ、この監視哨になんの連

1667 ゴミ 絡も来なかったって言うのも、そういうことだろ？

1668	サンテ	・・そうか・・だからソガさん。
1669	ゴミ	なに？
1670	サンテ	虹の壁は拡大してるって。
1671	ゴミ	ええ！
1672	サンテ	この地球は28年で虹に全部覆われるんだって。
1673	ゴミ	・・・・そうなんだ・・・。
1674	サンテ	ソガさんは、それを誰にも報告しないでいたんだって・・。
1675	ゴミ	確かに・・そんな情報を外に出すわけにはいかないな。
1676	サンテ	でも・・誰にも言わなかったって・・。
1677	ゴミ	太鼓女が見つけて報告したんだろ・・。
1678	サンテ	・・・・。
1679	ゴミ	真実を知った人間はそうやって居なくなるんだ・・。
1680	サンテ	・・・。
1681	ゴミ	君もそうだろう？ここに会社のデータがあるって事、誰に聞いたんだ？
1682	サンテ	・・それは。
1683	ゴミ	ここに来るようになってたんだな。自分たちは。
1684		
1685		

ハジが建物から出て来る。

1686 サンテ どうですか？ウシヤマさん。
1687 ハジ まあまあ落ち着いたわ、なんとか・・・。
1688 サンテ そう・・・。
1689 ゴミ あの・・・ハジさん・・・今、話ってたんだけど、救助の件なんだけど・・・。
1690 ハジ 誰も来ないんでしょ？
1691 ゴミ あの？
1692 ハジ 私知ってたから。
1693 サンテ え？それも？
1694 ゴミ どうして知ってたんです？
1695 ハジ ・・・・まあ・・・何となく？
1696 ゴミ たぶん、ここにも、もうじき虹が現れると思います。
1697 ハジ そういうことなんだ。
1698 ゴミ はい。
1699 ハジ いいんじゃない。
1700 サンテ・ゴミ ・・・・。
1701 ハジ お父さんと息子に会えるかなあ。
1702 サンテ ・・・・まだ、信じてますか？
1703 ハジ え？なにを？
1704

1705 サンテ

あの宗教。ヨーコン会？

1706 ハジ

当たり前でしょ。信仰を捨てるなんて、なかなか出来ないんだよ。・・・どんな人間でも。

1707 サンテ

そう。

1708 ハジ

虹に飲み込まれるなら本望だわ。選ばれたんだから。神様に。

1709

1710

ハジ、建物に去る。

1711

サンテ、双眼鏡を覗く

1712

サンテ

あ！

1713

ゴミ

なに？

1714

サンテ

まつたけ泥棒。

1715

ゴミ

ええ？

1716

サンテ

どこへ逃げてく気だろ？

1717

ゴミ

どこにも逃げ場無いのに。

1718

サンテ

(遠くへ) おおーい！おーい！

1719

ゴミ

おーい！

1720

サンテ

あれ？手を振ってる。

1721

ゴミ

え？

1722

1723

サンテ

なんだろう？

1724

ゴミ

お別れの挨拶かな？

1725

サンテ

そんな事するかな？

1726

ゴミ

手を振ってみたら。

1727

サンテ、ゴミに双眼鏡を渡して手を振る。

1728

1729

サンテ

おーい！サヨナラ！サヨナラ！

1730

1731

ゴミ、双眼鏡を覗く。

1732

1733

1734

ゴミ

あ！振ってる！振ってる。

1735

サンテ

サヨナラ！サヨナラ！

1736

ゴミも双眼鏡を覗きながら手を振る。

1737

1738

ゴミ

サヨナラ！サヨナラ！

1739

サンテ

あはははは。サヨナラ！

1740

1741 ゴミ ああ、返してる、返してる。あははは。

1742

1743 サンテ、ゴミに向き合おう。

1744

1745 サンテ もしさ・・・

1746 ゴミ え？なに？

1747 サンテ もし、生きて、戻れたらさ。

1748 ゴミ ・・うん。

1749 サンテ 私に謝って。

1750 ゴミ ・・今謝ろうか？

1751 サンテ いいよ・・・助かってからで・・・

1752 ゴミ うん・・・ごめん。

1753 サンテ いいって。まだ。

1754 ゴミ うん。

1755 サンテ ははは。あれ？なんだろう？涙が・・・止まらないぞ。ははは。

1756

1757

ゴミ、双眼鏡を覗く。

1758

1759 ゴシ おおーい！おおーい！ははは。このまつたけ泥棒！
1760 サンテ おおーい！おおーい。
1761

1762 徐々に虹が降りてくる。

1763 終わり

1764

1765

1766

1767

1768

1769

1770

1771

1772

上瀬ひろしのイラスト

シブターTRIBE hideo.nagataka@gmail.com

終わり。